

10年後の目指すべき姿

地域の支え合いによって、高齢単身世帯や障がいのある方、要介護者などの社会的に孤立しがちな市民を始め、支援を必要とする市民が支援を受けられる環境が整っており、地域に密着した保健福祉サービスも充実しています。また、災害発生時に支援を必要とする要援護者への支援体制も充実し、誰もが安心して暮らしています。

<主な取組>

① 市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり

●地域福祉活動に対する支援を充実します。

- ・ 地区福祉のまち推進センターの活性化による見守りを推進します。
- ・ 要支援者情報の取扱いルールを確立し、地域内での情報共有を推進します。

●重層的な見守り体制を構築します。

- ・ まちづくりセンターなどによる活動主体間のネットワークを推進します。
- ・ 宅配事業者などとの見守り連携協定の締結を推進します。



② 地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり

●支援を必要とする市民を適切に把握する体制を構築します。

- ・ 保健師等による要支援者への訪問相談の実施など、個別支援を強化します。
- ・ 地域の福祉ネットワークと専門機関との連携を強化します。

●地域で必要な保健福祉サービスが受けられる環境づくりを推進します。

- ・ 区役所における窓口間の連携強化による総合相談機能を強化します。
- ・ 地域の医療・介護関係機関などのネットワークを強化します。



③ 災害に備えた地域防災体制づくり

●避難場所の環境整備を推進します。

- ・ 避難場所の防寒対策や耐震化、バリアフリー化などを推進します。
- ・ 小中学校などに食糧や毛布、灯油ストーブなどの備蓄物資を拡充します。

●実践的な地域防災体制づくりを進めます。

- ・ 自主防災組織や学校、区役所等が参加する防災訓練や研修などを充実します。
- ・ 高齢者や障がいのある方など災害時要援護者への避難支援体制を充実します。

